単元の言語活動3　登場人物の魅力を紹介する

活動のねらい

「単元のねらい」に示したとおり、史伝の背景を理解しつつ内容理解を深め、自分のものの見方・感じ方・自己の生き方に対する考え方を広げたり深めたりすることをねらいとする。

この「登場人物を紹介する」言語活動は、主体的に興味深く取り組みやすい活動なので、漢文世界を学ぼうとする学習意欲につながるし、漢文世界に親しむことにもつながるものと考えられる。

さらに、この言語活動は、以下の四点の「力」の育成にその特色があるので、ここでそれを示しておく。

①「史伝」作品や文章の、歴史的・文化的背景などを**調査する力**。
②生徒自身が主体的に、作品や文章の内容をより深く広く理解する**解釈する力**。
③文章の構成や展開・表現の仕方・表現の特色について**評価する力**。
④紹介文を読者・聞き手にわかりやすく魅力的に**表現する力**。

タイトル・序文の解説

まず「十八史略」の概略を記した。それは、本活動では、作品や文章の歴史的・文化的背景などを調査するので、それを補完するためである。特に、「そこには歴史を切り開いた躍動的な人物の個性的な生き方や奥深い考え方が示され」が要点となろう。このことは、「登場人物の魅力を紹介する」という言語活動設定の理由ともなっている。ただし、これだけでは情報量が少ないので、生徒各自が選んだ人物についてはインターネットや資料集などで主体的に調べさせ、多くの情報を得させたい。そのためには、図書館などで調査させる時間を取りたい。

「課題」の解説

課題　この教科書掲載の「史伝」教材の中から、紹介したいと思う人物一名を選び、その人物の魅力を紹介する文章を、四百字〜五百字程度で書いてみよう。

序文に述べたように、「十八史略」には魅力的で躍動的な人物が多く登場するので、それを活かした「その人物の魅力を紹介する」という課題は、生徒にとって学習しやすいだろうとも考えた。

また、この「登場人物の魅力を紹介する」活動は、「活動のねらい」で述べたように、四つの「力」の育成に特色がある。そこで、課題にどのようにちりばめられているかについて、課題文を用いて示す。

この教科書掲載の「史伝」教材の中から紹介したいと思う人物

一名を選び（①②）、その人物の魅力を紹介する文章（②③④）を、四百字〜五百字程度で書いてみよう（②③）。

活動の解説

1 紹介する人物一名を選び、その人物の魅力を探ろう。

①その人物の、ものの考え方や生き方、おもしろかった場面や言動などを多面的に分析し、その魅力を探り出す。 思判表B (1)イ

内容を解釈する力

・史伝教材に登場する人物の中から興味を持った人物を自由に選ばせる。

・本文に即し、人物像やその魅力を探り出す。箇条書きにしたり、図表にしたり文字化させる。

【具体例】紹介する人物↓鮑叔

鮑叔についての本文と、人物像・魅力をまとめた表

本文	人物像（ものの考え方など）とその魅力
①小白先至レ斉而立。 ②鮑叔牙薦二管仲一為レ政。 ③鮑叔不二以為レ貪。知二仲貪一也。 ④鮑叔不二以為レ愚。知三時有二利不利一也。 ⑤鮑叔不二以為レ怯。知三仲有二老母一也。 ⑥（管仲）…知レ我者鮑子也。	①小白を君主に据える ⬇計画的に目的を達成する緻密さが魅力。 ②管仲を薦める ⬇管仲の治世能力をいち早く見抜くなど才能がある。 慧眼力が魅力。 ③④⑤鮑叔の行為に理解を示す ⬇情に厚いのが魅力。 ⑥管仲からも感謝 ⬇損得勘定のない支援のできる人物像が魅力。

【評価】 紹介する人物の、ものの見方や考え方、おもしろかった場面など、多面的に分析し、内容理解を広げたり深めたりしているか、確認する。

②辞書・インターネット・資料集などで人物の略歴やエピソード・人物像などを調べ、分析の参考資料にする。 知技(1)イ

情報を調査する力・メモする力

・スマートフォンなどを利用させてもよい。インターネットには不確実な情報も多いので、注意させる。

・調査した内容はメモなどにまとめておく。箇条書きでよい。出典などは明確にさせる。

・聞き手の知らないエピソード、聞き手が聞きたくなるようなエピソードなどを発見する。

【調査メモの具体例】

「当時にあって、大夫としての第一の生命は、その主君を覇たらしめることであった。そのためには政治的手腕にたけた優れた人材が必要であり、鮑叔は交友を通してその

才能を管仲に見たのである。更に、鮑叔既進管仲、以身下之。…天下不多管仲之賢、而多鮑叔能知人也。とあることからすると、鮑叔は管仲を推薦して管仲が活躍すれば、世間の人々は自分をどのように評価するかということまで考えていたはずである。」（研究資料漢文学『7 歴史Ⅰ・明治書院』）の指摘は面白い。

⬇鮑叔はなかなか狡猾な奴かもしれない。この意見を使うことも必要か。友情だけでまとめるか迷うところ。この漢文は「史記」（管晏列伝）によっている。「史記」の見方は深い。

【エピソードメモの具体例】

管仲の遺言（「管鮑之交・鑑賞Ⅱ」参照）

　管仲は、誰に宰相を任せれば良いかと桓公と話し合いになった時、桓公は「鮑叔牙が良いのでは？」と管仲に聞きました。管鮑の交わりでも有名な二人。鮑叔牙が後任だと管仲も安心なのでは？　と思いましたが管仲は「ダメです」と却下。理由は、鮑叔牙はあまりにも剛直、清廉すぎるから、だというのです。

⬇なるほど。宰相という器ではないということですね。エピソードとしては面白い。紹介文に用いることができるか？

【評価】紹介する人物の略歴やエピソード・人物像などを、辞書・インターネット・資料集などで調べ、内容理解を広げたり深めたりする分析の参考にしているか、確認する。

③探り出した人物の魅力を、箇条書きにしてまとめる。思判表 B(1)ア・イ

内容を解釈する力・メモする力

【《鮑叔》の人物像のメモの具体例】

○一言でいうなら、（小白を王位につけるなど）智謀家で名伯楽。
○（友情に厚い）人情家の面も持つ。また、客観的判断に優れ、その判断に自信を持つ自信家でもある。
○鮑叔は政治的手腕や能力を持つという観点から、管仲の才能を見抜き、信頼し続け、宰相の地位まで押し上げる。
○……（さまざまな人物像が考えられよう。生徒には自由に想像させたい）

【評価】紹介する人物の魅力を的確に捉えてまとめているか、確認する。

2 紹介する人物の魅力を、効果的に伝えるための構想を練り、紹介文を書き上げよう。

①人物の魅力を伝えるために、表現のしかたを工夫する。 思判 表B(1)ア・イ

・読み手や聞き手が引きつけられる題名や見出しを考える。
・人物の魅力を伝える印象深い話題などをまとめる。
・適切な構成や展開を考え、構成メモを作成する。

文章を構想する力・文章を構成する力

・自分の言いたいことが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせる。

【《鮑叔》を用いた文章構成の具体例】

見出し…一言で鮑叔の魅力を表現するもの（キャッチコピー）
序論…紹介する人物の提示（その人物を選定した理由）
本論…紹介する人物の魅力とは何かを説明する
結論…紹介する人物の魅力をまとめる

【評価】 紹介する人物の魅力を的確に捉え、それを伝えるための表現の仕方を工夫しているか、確認する。

②①を踏まえて、人物紹介文を書き上げる。 思判 表B(1)イ

【人物紹介文の具体例】

鮑叔の魅力「信じ続ける」力　○年○組○番　氏名○○○

私は、鮑叔の「信じ続ける」力に魅力を感じました。

鮑叔は、小白を斉の君主（桓公）に、管仲を名宰相に育て上げ、後世、名伯楽と賞賛されました。その育成の仕方を教材「管鮑之交」から読み解いてみます。「…知仲貧也。…知時有利不利也。…知仲有老母也。…生我者父母、知我者鮑子也。」とあり、鮑叔は管仲のことを「知」り尽くし、徹底的にその才能を「信じ続け」、育成をしていたことが分かります。鮑叔の生きた春秋戦国時代は、弱肉強食の戦乱の世、裏切りが日常。そのような時代に、相手の立場に立ってものを考え、「信じ続ける」など、無理な話だと思います。

ところが、鮑叔はそれをするのです。使命感にも似た強い思いで鮑叔は管仲を「信じ続ける」のです。私にとって、この意志の強さに魅力を感じました。それは、なかなかできないことだからです。「史記」に「管仲の能力は確かにすごいが、鮑叔が管仲の才能を認め、それを信じ続けたことの方が偉い」（管晏列傳）とありますが、納得です。

最後に、このような人物が私のそばにいてくれたら、私ももっと成長できたかもしれません。

【評価】 紹介文を書くために、資料を集めて整理分類するとともに内容理解を広げたり深めたりし、その上で、構想を練

り、それを文章化しているか、確認する。

③①を踏まえて、書き上げた人物紹介文を、推敲する。

3 人物紹介文を、発表し合おう。

①グループを作り人物紹介文を発表し合い、相互評価する。

・①で書いた相互評価表の用紙を各発表者に手渡す。

「自己・相互評価のポイント具体例」参照。

・相互評価表を受け取った発表者は、そこに書かれたコメントをもとに検討し、2で書いた原稿に朱で加筆訂正をする。清書なし。

②相互評価をもとに、人物紹介文を加筆訂正する。主態

【評価】相互評価をもとに、人物紹介文を加筆訂正しているか、確認する。

③加筆訂正した人物紹介文の自己評価を行う。

【自己評価のポイント具体例】も【相互評価のポイント具体例】と同じなので、ここの例を参照とする。

【自己・相互評価表のポイント具体例】

自己・相互評価のポイント	評価　1よい　2普通　3わるい
①見出しは、読者や聞き手をひきつけるものになっているか。	1　2　3
②紹介する人物の魅力を読者や聞き手に適切に伝える内容となっているか。	1　2　3
③紹介する人物の魅力を読者や聞き手に適切に伝える表現になっているか。	1　2　3
④紹介する人物の魅力を読者や聞き手に適切に伝える文章構成になっているか。	1　2　3
⑤紹介する人物の魅力を読者や聞き手に興味深く伝える逸話が適切に挿話しているか。	1　2　3
⑥発表する際、発表内容が読者や聞き手によく伝わる声の出し方になっているか。	1　2　3

（前田　康晴）